

平成23年度 松本筑摩高等学校 重点目標の中間評価

平成23年11月17日

学校教育方針	中・長期的目標
定通の和を尊び、理想の追求を象徴する校章と校歌に示された精神をもとに、 1. 知性の涵養 2. 品性の陶冶 3. 心身の練磨 を目的とする。	「心あらたな学び直し」 「限られた時間を活かしての学び」 「働きながらの学び」 を願う人々の要望に応える教育活動を展開すること。

	今年度の重点目標	評価	成果と課題
定 時 制 午 前 部 ・ 午 後 部	1. 生徒一人ひとりの資質・能力の伸長	B	国語・数学・英語では、習熟度別講座編成により、一人一人の進度に合わせ、能力の伸長を図っている。 低年次からのキャリア教育の推進が課題である。
	2. 自尊感情と思いやりの心の育成	B	今年度は「自尊感情の育成」をテーマに掲げ、昇降口の掲示や全校集会等の機会を捉え、生徒に語りかけてきた。また、「問いかける生徒指導」に重点を置くとともに、保護者懇談会等を通して家庭との連携を図った。
	3. 社会力の育成	B	総合的な学習の時間やLHRの時間を利用して、1年次の全クラスでSSTを導入した。生徒の社会的自立を見据えたコミュニケーション力の育成が今後の課題である。
	4. 基礎学力定着のための授業改善	B	授業アンケートを実施し、昨年に引き続き統計的な処理を行い、グラフ化した資料を作った。これをもとに各教科担当者が、授業改善をより意識することができた。
	5. 教育課程の工夫・改善	B	国語・数学・英語で「学びなおし」を目標とした選択科目を開設したり、数多くの学校設定科目を開設したりすることで、選択科目の充実を図っている。
	6. 特別支援教育の充実	B	特別支援教育研究指定校2年目となり、コーディネーターの複数配置や個別の指導計画の作成などにより、全職員が共通理解の下で、生徒支援にあたることができた。
定 時 制 夜 間 部	1. 基礎学力の定着と単位修得率の向上	B	・始業前の10分間ドリルの定着により、計算力、英単語力、漢字の読み書き、一般常識等の基礎学力が向上している。卒業生からドリルが役に立ったという声を聞いている。 ・前期の段階で、長欠者を除き、不認定の科目を持つ生徒が22%と増加している。
	2. 進学および就職などの進路保障の一層の充実	B	・就職では11月1日現在2名が内定。進学では1名が合格。 22年度に比べ苦戦している。 ・3年次生に対し、予定を早めて11月よりSSTを実施する。
通 信 制	1. 単位修得率の向上	B	・昨年度に続き新入生のプチ・スクーリング（前期後期とも）を、生徒会と共同で実施。レポートの書き方、提出方法など指導。 ・担任からの連絡を密にし、登校しなくなった生徒、レポートが滞っている生徒に電話連絡。
	2. 添削・指導の工夫・改善	A	・長野西高通信制課程とのレポート添削学習交流会を、初めて実施。参加職員は大変勉強になり、本校での報告会も実施した。
	3. 補充スクーリングや個別指導の工夫	B	・補充スクーリングや松本地区の本校面接などに、多くの生徒が参加。個別指導では、粘り強く指導し、頑張っ理解しようとする生徒の姿が良く見られた。

